

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	嬉野市立久間小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>○学力の向上：文章の読解力、表現力に課題があった。</p> <p>○心の教育：いじめ事案に対応する中で、児童理解を深めることができた。今後も早期発見、早期対応に心がけていく。夢を持つきっかけとなる体験活動を継続する。</p> <p>○健康・体づくり：体づくりに対する意識の向上を図り、家庭への啓発を推進する。</p> <p>○業務改善にさらに取り組む。</p> <p>○地域コミュニティとの連携をさらに深める。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	いきいき久間っ子の育成 くま・・・工夫して学ぶ子 つ・・・強くてたくましい子 こ・・・心やさしい子
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>子どものよさは可能性を引き出し、やる気と夢をもたせる教育活動の推進 ～「いい顔・いい声・いい動き」笑顔いっぱい『たい』が泳ぐ学校づくり～</p> <p>①【学力の向上】○基礎基本の定着と読解力等の向上 ○新聞の活用等情報を整理し、表現力・思考力・判断力を伸ばす授業づくり ○読書活動の充実 ○ICT利活用による授業実践</p> <p>②【心の教育】○ほめて育てる学級経営・生徒指導の推進 ○心に響く道徳の授業づくり ○一人一人の困り感に寄り添う特別支援教育の充実 ○学習環境・授業のユニバーサル・デザイン化 ○体験活動の充実</p> <p>③【健康・体づくり】○体力向上のための日常的な遊びや運動の習慣化 ○体育的行事の実践 ○朝食と早めの就寝を基本とする生活リズムの定着 ○健康教育、安全教育の充実 ○縦割り班活動の実践</p> <p>④【業務改善・教職員の働き方改革の推進】○業務の効率化の推進と業務遂行能力の向上</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価	主な担当者
---------------	--------	-------

(1)共通評価項目				最終評価				主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	最終評価		学校関係者評価		
	取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 (基礎基本の定着と読解力等の向上)	●学力向上対策評価シートに示したマイ プランの成果指標を達成した教師80% 以上	・久間小メソッドの定期的な確認 ・授業における交流タイムの実践 ・教材等への書き込みの習慣化	・	・	・	・	工夫して学ぶP
	○家庭学習習慣の確立 (学校塾は実施されない)	○毎日、学年の目標時間を目指して、家 (学童)で勉強している児童90%以上	・年3回家庭学習チェック ・家庭学習の時間の設定、内容の充実 ・自学の奨励、ノートコンテストの実施	・	・	・	・	工夫して学ぶP
	○校内研究の充実 新聞の活用等情報を整理し、表現力・思 考力・判断力を伸ばす授業づくり	○新聞を活用した授業の実施や環境づ くりについて、理解し取り組んでいる職 員80%以上	・新聞を取り入れた授業の実施 ・新聞活用を通じた思考力・表現力の向 上(新聞への投稿等) ・NIEノートの取組	・	・	・	・	研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する 心、他者への思いやりや社会性、倫理 観や正義感、感動する心など、豊かな心 を身に付ける教育活動(心に響く道徳の 授業づくり)	○道徳の時間の学習に真剣に取り組ん でいる児童90%以上 ○道徳の授業を計画的に実施している 職員90%以上	・道徳科の学習スタイルの共有化 ・道徳ノートの持ち帰りによる家庭との 連携	・	・	・	・	道徳教育推進
	●いじめの早期発見、早期対応体制の 充実	○学校に来ることが楽しい児童を90% 以上	・児童との面談を年に1回以上実施 ・児童及び保護者に対する情報モラル講演 会の実施 ・支持的風土のある学級経営の実施	・	・	・	・	心P(生徒指導)
	◎夢や目標に向かって努力しようとする 気持ちを育む教育の推進	○夢や目標をもって生活している児童 90%以上	・グローバルデー事業に年2回以上取り 組む ・キャリアパスポート、学級通信等での 夢や目標の紹介	・	・	・	・	心P
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」 体力の向上のための日常的な遊びや運 動の習慣化	●授業以外で運動やスポーツを行う時 間が1週間で420分以上の児童80%以 上 ○昼休み等に外に出てよく遊ぶ児童 90%以上	・縦割り共遊、がんばるマラソン、久間リ ンピック、スポーツチャレンジなど ・放送による外遊びの推奨	・	・	・	・	強いP
	②「望ましい生活習慣の形成」 朝食と早めの就寝を基本とする生活リ ズムの定着	●毎日、朝食をどって登校する児童95% 以上 ●発達段階に応じた目標の就寝時刻に 布団に入る児童90%以上 低 9:00 中 9:30 高 10:00	・保健室便り等による保護者への啓発 ・児童集会での保健委員会による発表 ・家庭学習チェックシートによる朝食喫 食や就寝時刻の確認 ・全学年食育・健康教育授業の実施	・	・	・	・	強いP
●業務改善・教職員の働き 方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間 の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在 校等時間の上限を遵守	・業務記録、業務執行状況の観察をも とに、職員の業務遂行力の実態把握、改 善の推進	・	・	・	・	教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価				主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	最終評価		学校関係者評価		
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
◎志を高める教育	○保護者・地域コミュニティとの連携の 促進	○「コミュニティや地域の教育力を活用し た実践を計画的に行っている」教員の割 合80%以上	・久間コミ活動等地域連携活動を教科等 の年間計画に明示 ・コミュニティや関係者との早めの連絡、 打合せの実施	・	・	・	・	教務主任

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------